

「テンサイ黄化病（旧：西部萎黄病）」を防ぐため、 「ハウスクリーニング」に取り組もう！

テンサイ黄化病は、モモアカアブラムシによって媒介されるウイルス病です。

越冬ビニールハウス内の作物残さや雑草は、テンサイ黄化病の重要な保毒源になるばかりでなく、アブラムシがそこで越冬するおそれがあります。令和元年産の発生は少なく経過しましたが、気を緩めず継続した対策を行いましょう。

ビニールハウス内の作物残さや雑草を処分すること（ハウスクリーニング）は、テンサイ黄化病の最も効果的な防除です。

ハウスクリーニングの取り組み

○雑草の処理（育苗土の堆積場所や機械保管場所なども含む）

・機械・手取りなどにより除草する。

厳寒期はハウス外へ持ち出し、広げて枯死させる。

（ハウス内に堆積したままでは内部でアブラムシが増殖してしまう）

○ハウス内で生育中の作物のアブラムシ防除

・作物登録のある殺虫剤を散布する。

○野菜の残さや収穫後の株の処理

・ハウス外へ持ち出す。または反転耕起し地中に完全にすき込む。

※厳寒期にハウスのビニールをはぐことも効果的

注意：戸口の開放だけではアブラムシや寄主植物が残る可能性があります。

ハウスクリーニングは
地域全体での継続的な取り組みが効果的です！